完全対策講座 日本史

このPDFは、製品版の冒頭5ページを抜粋した
無料の試し読みサンプルです。目次・本文の書き方・
問題の出し方を確認してから、購入をご検討ください。

購入先

・黒田塾 教材プラン（科目別・セット価格、LINEで注文）
https://kurodaschool.jp/materials/
・BOOTHショップ「東大黒田塾」（ダウンロード販売）
https://kurodajuku.booth.pm/
・科目選びの相談（無料）
https://kurodaschool.jp/contact/

※ サンプルは製品版の一部です。収録範囲・分量の全体は
各販売ページでご確認ください。
※ 本サンプルは個人の学習用です。第三者への配布・転載・
転売・共有は禁止します。
※ 購入や読了による合格・得点を保証するものではありません。

高校日本史探究・歴史総合

日本史

なぜと流れで
つながる

本文・穴埋め・史料・比較・論述

試し読みサンプル

「誰が何に困ったか」から読み、政策の仕組みと、その結果をつなぐ。読んだ直後に穴埋めで再現し、資料と論述で使える知識にする。

本書の学び方

本文で理解 → 下段を隠して穴埋め → 問題を解く → 直後の解説で修正 → 日を空けて再現

第6版・範囲点検と再校訂 | 2026年10月30日

目次

最初に——何ができれば「身に付いた」といえるか 5
読む前の基礎辞典 10
J01　定住すると、暮らしの何が変わる？ 14
J02　米・金属・外交が、国の形を変える 26
J03　「豪族の国」から「制度で治める国」へ 39
J04　税を集めるには、まず人と土地を数える 52
J05　仕組みが揺らぐと、誰に任せるのか 66
J06　上皇・貴族・武士が、同じ土地に関わる 78
J07　「土地を守る」が、武士をまとめる約束になる 90
J08　勝った戦争なのに、なぜ幕府は苦しくなる？ 104
J09　内乱を戦うほど、地方の武士が強くなる 116
J10　村・町・海を結ぶ、人々の力 128
J11　勝つだけでは、天下は治まらない 140
J12　戦争を終わらせた後、何を固定する？ 153
J13　米で受け取り、お金で暮らす社会 167
J14　文化は、誰のお金と時間で広がる？ 180
J15　改革は「何を財源にするか」で比べる 192
J16　外国との条約が、なぜ国内の政権を揺らす？ 204
J17　新政府は、なぜ土地・学校・軍隊を変えた？ 217
J18　税を負担する人は、政治を決められる？ 230
J19　戦争で得たものは、次の対立も生む 243
J20　工場が増えると、誰の生活が変わる？ 255
J21　近代の文化は「西洋化」だけで説明できる？ 267
J22　世界大戦が、日本の政治を変える 280
J23　大衆社会は、誰に開かれていた？ 292
J24　経済危機は、どう政治の危機と結び付いた？ 305
J25　長い戦争は、暮らし全体を巻き込む 318
J26　敗戦後、政治・経済・暮らしをどう作り直す？ 331
J27　独立を回復しても、課題は終わらない 345

試し読みサンプル

J28　豊かさが増えると、何が見えにくくなる？ 357
J29　成長の条件が変わると、経済はどう動く？ 369
J30　現代の問題は、いつから続いている？ 381
H01　身近な物から、日本と世界をつなぐ 393
H02　機械が増えると、仕事と世界の関係が変わる 405
H03　国を動かすのは、王か、国民か 417
H04　近代化と帝国主義は、どう重なったか 429
H05　総力戦と革命が、戦後の秩序を揺らす 441
H06　同じ恐慌に、なぜ違う政策で応えた？ 453
H07　戦争を終えることと、平和を作ることは同じ？ 465
H08　冷戦の二つの陣営に、世界は収まり切った？ 477
H09　世界のつながりは、いつも安定をもたらす？ 489
H10　現代の問いを、歴史の力で調べる 501
R01　古代の徴税を、方法の変化として読む 513
R02　土地の権利が重なる社会から、検地へ 515
R03　対外関係を、四つの経路で読む 517
R04　改革を、目的・手段・利害で比較する 519
R05　「公論」と「普通選挙」は、同じ範囲か 521
R06　地租改正を、言葉と計算で理解する 523
R07　憲法の自由を、条件の言葉まで読む 525
R08　割合が下がると、実数も減る？ 527
R09　戦争と政治参加は、どう関係する？ 529
R10　占領改革と冷戦を、一つの時間軸へ 531
R11　文化史を、作品名から社会へ戻す 533
R12　未知の地域史を、与えられた資料から解く 535
R13　土地を通して、国家と地域の関係を説明する 537
R14　武家政権を、支配の仕組みで比べる 538
R15　文化を、信仰・流通・受け手から説明する 539
R16　政治参加の拡大を、権利の範囲から評価する 540
R17　景気回復と生活の改善を、同じものにしない 541
R18　占領から成長へ——国内改革と国際環境を結ぶ 542

試し読みサンプル

文化を社会へ戻す対応表 543
年代を、意味と組にする 546
史料・統計・図像の読み方 551
時代をまたぐ比較表 553
通史の詳細項目索引 557
読み方の確認 572
主要語句から本文へ 574
出典・参照資料と編集方針 586

試し読みサンプル

最初に——何ができれば「身に付いた」といえるか

本書は高校の「日本史探究」と「歴史総合」を対象に、原始から現代までの通史、文化・経済・外交、資料読解と論述を一つにまとめた教材です。大学の専門理論や研究史の細部を広げず、高校知識の組合せ方を深めます。難関国公立の入試を目標にしますが、一冊を読み終えることと、初見の問題を自力で解けることは同じではありません。以下の五つを答案で確認します。

確認する力	自分で確かめる方法
名称	下段を隠して各単元の基本12個・詳しい確認12個を埋める。
仕組み	誰の、何の問題を、どの手段で解決しようとしたかを話す。
区別	似た制度・事件を時期、主体、対象、方法で比較する。
根拠	資料の事実と、背景知識を使った推論を分ける。
表現	設問が求める時期・範囲に合わせ、因果と比較で答案を書く。

読む順番

1周目：通史J01 ~ J30の本文・詳説・穴埋めを中心に、同時に基礎確認まで進める。
2周目：単元演習と応用で、名称を使って説明する。歴史総合H01 ~ H10で日本と世界を結ぶ。
3周目：総合演習R01 ~ R18で資料・比較・論述を解く。間違えたら対応単元へ戻る。

試し読みサンプル